

科目群	科目区分等	科 目 名	担当教員名	対象学年次	学期
専門科目	2 単位 保育の本質・目的	児童家庭福祉	鈴木 真	1 年次	秋

授業のキーワード	児童家庭福祉の基礎理念、現代社会と子どもを巡る諸問題、児童家庭福祉政策
授業の概要	児童家庭福祉の理念や法制度、現場で直面している今日的な課題などを取り上げ、保育者として必要となる基礎的事項を学んでいくことを目的としている。なお、本講義では、視覚教材(DVD やビデオ等)、パワーポイントでの資料提示を行うなど、マルチメディアを効果的に活用していくことを予定している。
期待される学習成果（目標）	1.児童家庭福祉の理念・法制度を深く学び、子どもの最善の利益を考えられる保育士を目指す。 2.子育て支援や児童虐待、子どもの貧困、非行問題など、児童家庭福祉領域の抱える今日的な課題や福祉サービスの現状を具体的に理解する。

授 業 展 開

	テ マ	内 容		テ マ	内 容
第1講	イントロダクション	講義の趣旨説明及びスケジュールの確認を行う。	第9講	保育問題とその制度・政策	保育制度・政策の概要と課題について学ぶ。
第2講	子どもの貧困と子どもの家庭福祉—その理念と概念	子ども家庭福祉の基本的な理念を理解する。	第10講	子育て支援の広がりとその課題	現代社会における子育て支援の現状と課題を学ぶ。
第3講	世界の子どもと日本の子ども	グローバルな視点から子ども家庭福祉の課題を整理する。	第11講	子ども家庭福祉の法制度と行政の仕組み	子ども家庭福祉の法体系や福祉行政の実態を理解する。
第4講	子どもの人権と権利擁護	子どもの人権と権利擁護システムについて学ぶ。	第12講	子ども家庭福祉の行政と実施期間	子ども家庭福祉の行政の仕組みと具体的な実施期間の役割を学ぶ。
第5講	少子化社会と少子化対策・保育政策	少子化の現状や具体的な少子化対策と保育政策について理解する。	第13講	子ども家庭福祉を担う専門職員	子ども家庭福祉の職員に求められる専門性について学ぶ。
第6講	子ども虐待、ドメスティック・バイオレンス	子ども虐待やドメスティック・バイオレンスの急増とその社会的背景を理解する。	第14講	子ども家庭福祉の動向と展望	専門機関の連携とコミュニティのネットワーク、世界の子ども家庭福祉の動向について学ぶ。
第7講	社会的養護体系と子ども家庭福祉の課題	社会的養護問題の歴史的な変遷と今後の課題を学ぶ。	第15講	全体のまとめと振り返り	本講義全体のまとめと振り返りを行う。併せて、定期試験もしくはレポート提出についての説明を行う。
第8講	児童福祉施設の役割と機能	児童福祉施設の体系と種類、実践課題などを学ぶ。	定期 試験		全体的な基礎知識を問うレポートの提出を求める。
評価方法		学期末のレポート 50 %、授業貢献度（授業態度、事例検討への参加、小レポート等）50 %により、総合的な評価を行う。詳細については、初回の授業で説明を行う。	参 考 文 献		
使用する教科書（必ず購入してください）			参 考 文 献		
浅井春夫編著『シードブック子ども家庭福祉』(第二版)建帛社 2012 年			随時、授業中に紹介する。		